

豊野地区住民自治協議会だより

第 92 号

令和 8 年 9 月 1 日 発行者: 豊野地区住民自治協議会

事務局(豊野支所内) TEL・FAX 217-6638

メール: jimukyoku@toyonojjk.com

豊野町人口 男 4,378 人 (65 歳以上 1,369 人) 女 4,578 人 (65 歳以上 1,717 人) (令和 8 年 7 月 1 日現在)

人権合同研修会開催



7 月 18 日(土) 豊野防災交流センターで、人権教育部会の部会員、各組人権教育推進員の合同研修会が開催されました。今年度は、長野市人権・男女共同参画課の木内昇指導主事から「DVD を活用した地域人権研修会の進め方」というお話を伺い、各区、各組の人権研修会を充実させる為にどうしたらよいかを学ぶことができました。

各区、各組の人権研修を行う際に、市の DVD を視聴することが多いようです。木内指導主事から、「DVD を視聴するだけでも、十分に研修の意味があります。百本を超える DVD がありますので、どんどん活用ください。ただ、少し工夫するとさらに研修が深まります」と、DVD を使った研修を行う際の助言をいただきました。

- ① 区、組の人権課題に合わせた DVD を選ぶ。
 - ② 視聴する前に、DVD の視聴を通して考えていただきたいことを伝える。
 - ③ DVD を視聴する。
 - ④ 見終わった後に、5 分程度の時間を設けて 2～3 人で感想を発表し合う。
 - ⑤ 2～3 人に全体場で感想を発表してもらう。
 - ⑥ 人権教育推進委員は、参加者の発表をもとに、その人権課題に今後どう向き合ってほしいかを述べる。
- これらすべてを盛り込むことは無理にしても、④を取り入れるだけでも研修が深まるように感じました。

各区、各組の人権研修が充実すれば、全ての人が暮らしやすい豊野町になっていくのではないのでしょうか。今回の研修で学んだことを、地域の研修で活かして行きたいと思います。



福祉健康部会



5 月 13 日(水)と 22 日(金)に豊野地区福祉推進員研修会を開催し、92 名の福祉推進員の皆さんに参加していただきました。「福祉推進員の役割について」を講義いただいた後、地区ごとに分かれて推進員同士の交流を深めました。

すこやかクラブ



7 月 8 日(水)『はつらつ体操の再確認』講座が開催されました。看護師・健康運動指導士の小林文子先生に体操の動きを解説していただきながら一つ一つ確認しました。最後は、歌に合わせてリズム体操をして楽しい講座となりました。



南郷地区福祉会

6月7日(日) 南郷地区福祉会 第2回ふれあい交流会を実施しました。

農作業の忙しい時期でしたが、27名の方に参加いただき、天狗の湯入浴と飯綱町「御宿上倉荘」で山菜料理を主とした昼食交流会を行いました。

竹の子汁、ぜんまいの煮物、行者ニンニクの味噌漬けやしょうがの酢漬け、山菜うどんなどお腹いっぱいいただき、皆さんに楽しんでいただきました。



認定こども園豊野みなみ

6月23日(火) 認定こども園豊野みなみの園児のみなさんが、夏まつりに向けて正調豊野音頭保存会の方から伝統ある「豊野音頭流し踊り」を教えていただきました。

園児たちは見よう見まねで音に合わせて手をたたき、途中のりんごポーズも真剣に踊りを覚えていました。

8月1日(土)に行われた夏まつりでは、正調豊野音頭保存会の皆さんと親子と一緒に「豊野音頭流し踊り」を踊りました。世代を超えて受け継がれてきた地域の文化に親しみながら、会場は笑顔に包まれ夏まつりは大いに盛り上がりしました。



西小学校ボラ

豊野西小学校1年生の給食配膳のお手伝いを、地域の方7名に協力していただきました。2か月間毎日、子供たちと一緒に配膳・食事をし、とても楽しく充実した日々を送ることができました。



地域振興部会

6月14日(日) つつじ山遊歩道整備を実施しました。暑い中での作業となりましたが、18名の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございました。次回は今年の10月中旬に整備を予定しております。ボランティアも随時募集しています。



子育てサロン



子育てサロンの遊具にトランポリンを追加しました。落ちないように囲われているのでお子さんも安心です。未就学児のお子さんをお育てのご家族の方、広い室内で楽しく遊びませんか? 季節ごとのイベントも企画しております。ぜひご参加ください。

連載コーナー

馬場 朱莉さん



「太陽」



「空」

御礼

皆様のご支援・ご協力ありがとうございます



◆日赤活動資金・寄付金 831,820 円

◆介護用品の寄付

S様

◆寄付金 10,000 円 匿名様



ご案内

参加申込不要

- ・とよのすこやかクラブ (はつらつ体操) 会場: かがやきひろば豊野 日時: 毎週水曜日 10:00~11:15
- ・おれん家カフェ (お茶のみサロン) 会場: かがやきひろば豊野 日時: 毎月第4木曜日 10:00~11:30
- ・子育てサロン 会場: かがやきひろば豊野 日時: 毎月第2・4火曜日 10:00~11:45

治水対策の推進について

◆浅川内水対策 下流域連絡協議会 ～さらなる浅川の内水対策を求める～

浅川の内水氾濫により住宅の浸水に悩まされている豊野地区と長沼地区（赤沼区）が安全で安心して暮らせるためには、浅川の治水対策の抜本的な見直しが必要であることから、地区住民による下流域連絡協議会が令和6年1月に設立されました。令和7年度は3回行われ、過去の浅川内水浸水シミュレーションの設定条件の説明を受け、新たな設定条件について協議しました。地形条件（開発等による地形・土地利用形態の変化）、堤防・河道等の整備、雨水流出抑制などの取組による変化など様々な状況の変化等を反映できるように意見交換を行い、県からは、今後協議する新たな対策メニューを反映したシミュレーションを作成してはどうかとの提案がありました。今後は、浅川の左右岸堤防を同じ高さにすること、気候変動も考慮することなどを要望し、引き続き協議を続けてまいります。

また、5月14日に開催された令和8年度総会では、長沼地区（赤沼区）4名、豊野地区治水等復興対策特別委員会委員の石区、豊野区、浅野区の委員11名の会員構成で、会長に善財孝文氏（特別委員会委員長）が再選され、会長から豊野区長、浅野区長、赤沼区長が副会長に指名されました。

◆豊野地区治水等復興対策特別委員会 ～緊急治水対策プロジェクトの完了が4年延伸となる～

令和8年5月8日に豊野地区治水等復興対策特別委員会全体会議を開催。善財委員長ほか令和7年度副委員長の留任と区長交代による豊野区長と浅野区長の副委員長就任が承認されました。会議では千曲川河川事務所から、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について、上今井遊水地の330万㎡にのぼる残土処理の遅れなどにより、立ヶ花狹窄部の河道掘削などの完了を令和9年度から4年延伸するが、一刻も早い完了を目指したいとの説明がありました。令和9年度までにプロジェクトが完了することで千曲川の水位低下による治水安全度の向上を期待していましたが、事業期間の延伸に不安を感じており、再度早期完了を強く要望するとともに浅川が流れ込む千曲川側の浚渫を要望しました。これからも千曲川のプロジェクト事業が完了するまで進捗状況を確認してまいります。

【会議後実施した上今井遊水地及び立ヶ花狹窄部の現地視察の様子】



上今井遊水地 工事現場 視察



立ヶ花狹窄部 河道掘削 視察

◆浅川総合内水対策計画等の説明及び現地調査報告懇談会

～8年度事業確認 大道橋～浅川橋間の左岸舗装、小瀬橋下流左岸農地の埋め土など～

令和8年6月5日、浅川改良事務所及び市河川課の説明により、完成した浅川第四排水機場及び右岸堤防嵩上げ、令和8年度に予定している大道橋～浅川橋間の左岸舗装工事、すでに着手している浅川の浚渫状況、令和10年度に供用開始を目指している浅野島雨水ポンプ場予定地及びりんごの湯南側の三念沢未改修区間の現地視察を実施しました。また、現行の浅川総合内水対策計画の整備完了後も浸水区域となっている

市街化区域内の小瀬橋から碧雲橋間の浅川左岸区域への治水対策について以前から要望してきたところですが、浅川改良事務所から、治水対策の一つとして公共事業における建設残土の埋立てが提案されており、令和8年度には地形測量を行うとの説明がありました。

現地調査後の懇談会では、県及び市が実施する治水事業の説明を受け、石積みの一部崩落も見られる三念沢未改修区間の早期改修及び定期的な浅川の浚渫を要望するとともに、左岸舗装工事や石村用水の水門電動化などについて協議、要望しました。また、特別委員会からは、浅川の右岸と左岸の堤防の高さは同じであるべきで、浅川総合内水対策計画の見直しを含めた新たな抜本的な対策について、県も真剣に検討していただき、県及び市と一緒に前向きに話し合い、具体的協議を加速するよう要請しました。

県からは要望事項に対し、それぞれ前向きに検討していくこと、特に、時間はかかるかもしれないが、浅川総合内水対策計画の見直しは必要だと思っているので、継続的に話し合い、具体的に何ができるか、一緒に考えていくとの話がありました。また、市からはスピード感を持って治水事業を推進し、石村用水の水門電動化、連動化については安全確認し、地元の皆様と相談しながら進めるとの話がありました。

【浅川総合内水対策計画等の現地調査の様子】



沖ポンプ場付近 左岸堤防舗装工事予定現場



大道橋付近 浅川浚渫状況 視察

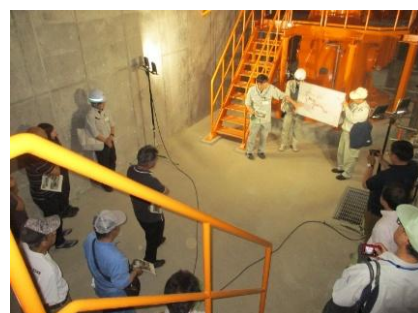
◆浅川第四排水機場の現場見学 ～浅川第四排水機場完成、合計 65 m³/秒排水可能に～

長野県が浅川総合内水対策計画のハード対策（令和2年から令和7年）の一つとして、浅川第四排水機場（7 m³/秒）を増設しました。浅川排水機場には、今回増設した第四排水機場のほかに、長野県が管理する第三排水機場（14 m³/秒）、長野市が管理する第一（14 m³/秒）、第二（30 m³/秒）排水機場があり、合計で1秒間に65 m³の水を排水できるポンプが設置されたことになります。これにより、洪水時等で千曲川の水位が上昇し浅川樋門が閉鎖した時には第一～第四排水機場が連携稼働し、浅川の水を千曲川へ排出します。6月19日には浅川第四排水機場の試運転に合わせて、下流域連絡協議会で現場見学を実施しました。内水被害の軽減につながる今回の排水機場の増設整備は、豊野地区としても早期完成を強く要望してきた一つであり、9月に豊野地区住民を対象とした完成見学会を開催する予定です。

【浅川第四排水機場 配置状況】



【浅川第四排水機場現場見学の様子】



特別委員会としては、引き続き千曲川、浅川及びその支川等の工事等進捗状況を確認し、安全で安心して住み続けられる地域を実現するため、国、県及び市と協議してまいります。